

農 業 の 概 要

1 総農家数の動き

全国、九州及び本県の総世帯数及び総農家数と農家率の動き

－本県の総農家数88,825戸、農家率12.3%－

2005年2月1日現在の本県の総農家数は88,825戸で、前回(2000年)の98,211戸に比べ9,386戸減少した。この5年間の減少率は9.6%になり、全国の減少率8.7%及び九州の減少率8.5%を上回った。

また、本県の農家率(総世帯数に占める総農家数の割合)は、12.3%と、全国や九州に比べ高いものの、前回比1.4ポイントの減少は全国や九州を上回った。

(表1, 図1)

表1 総世帯数, 農家数及び農家率の動き

(単位: 戸, %)

区 分		総世帯数	農 家 数			農家率	
			総 数	販売農家	自給的農家		
全 国	2000年(平成12年)	47,062,743	3,120,215	2,336,909	783,306	6.6	
	2005年(平成17年)	49,529,232	2,848,166	1,963,424	884,742	5.8	
	増 減	実数	2,466,489	△ 272,049	△ 373,485	101,436	
		比率	5.2	△ 8.7	△ 16.0	12.9	
九 州	2000年(平成12年)	5,443,843	486,225	364,949	121,276	8.9	
	2005年(平成17年)	5,648,621	445,080	310,546	134,534	7.9	
	増 減	実数	204,778	△ 41145	△ 54403	13,258	
		比率	3.8	△ 8.5	△ 14.9	10.9	
本 県	2000年(平成12年)	716,610	98,211	65,494	32,717	13.7	
	2005年(平成17年)	724,823	88,825	54,332	34,572	12.3	
	増 減	実数	8,213	△ 9386	△ 11162	1,855	
		比率	1.1	△ 9.6	△ 17.0	5.7	

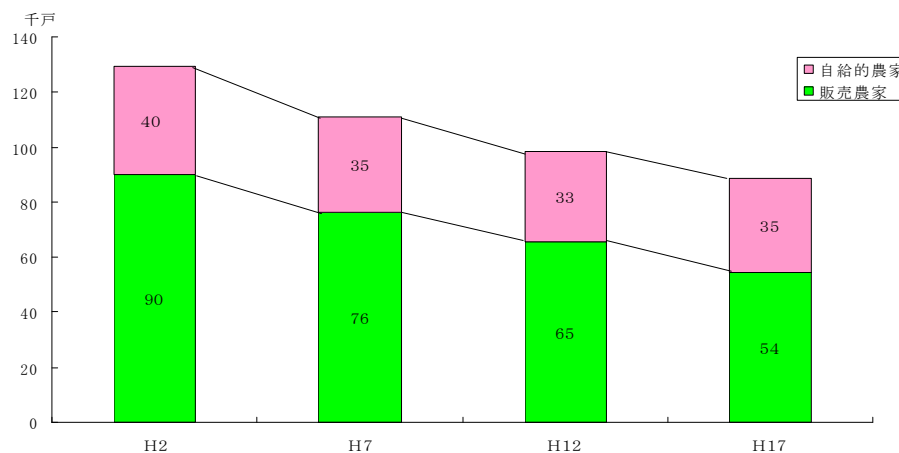
注) (1)総世帯数は、国勢調査(ただし、2005年は概数)による。

(2)農林業センサスの調査日は、各年とも2月1日(沖縄県は前年12月1日)現在である。

(3)九州には沖縄県を含む。

(4)農家率=総農家数/総世帯数×100

図1 総農家数の推移(本県)



2 全国、九州及び本県の専兼業別農家数の動き(販売農家)

ー本県の専業農家の割合は全国及び九州より大きいー

本県の販売農家数を専兼業別にみると、専業農家26,209戸、第1種兼業農家8,612戸、第2種兼業農家19,511戸となっており、前回に比べ専業農家が606戸(2.3%)、第1種兼業農家が2,184戸(20.2%)、第2種兼業農家が8,372戸(30.0%)の減少となった。

また、本県の専業農家の割合(48.2%)は、全国(22.6%)、九州(33.8%)に比べ大きいですが、本県の第2種兼業農家の割合(35.9%)は、全国(61.7%)、九州(48.7%)に比べ小さくなっている。

(表2, 図2)

図2 専兼業別農家数の構成比の動き(販売農家)

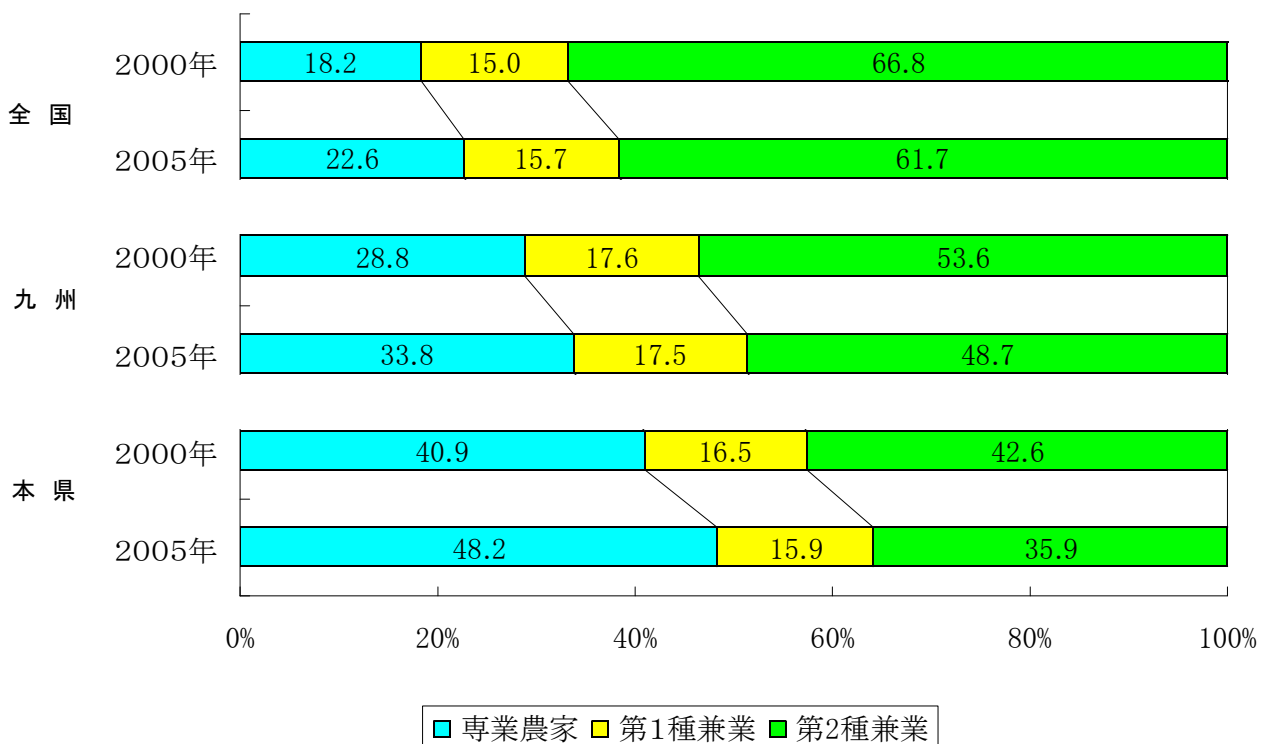


表2 専兼業別農家数の動き(販売農家)

区分		販売農家	専業農家	兼業農家			
				計	第1種兼業	第2種兼業	
全国	2000年	2,336,909	426,355	1,910,554	349,685	1,560,869	
	2005年	1,963,424	443,158	1,520,266	308,319	1,211,947	
	増減	実数	△ 373,485	16,803	△ 390,288	△ 41,366	△ 348,922
		比率	△ 16.0	3.9	△ 20.4	△ 11.8	△ 22.4
九州	2000年	364,949	105,075	259,874	64,367	195,507	
	2005年	310,546	105,041	205,505	54,210	151,295	
	増減	実数	△ 54,403	△ 34	△ 54,369	△ 10,157	△ 44,212
		比率	△ 14.9	△ 0.0	△ 20.9	△ 15.8	△ 22.6
本県	2000年	65,494	26,815	38,679	10,796	27,883	
	2005年	54,332	26,209	28,123	8,612	19,511	
	増減	実数	△ 11,162	△ 606	△ 10,556	△ 2,184	△ 8,372
		比率	△ 17.0	△ 2.3	△ 27.3	△ 20.2	△ 30.0
2005年構成比	全国	100.0	22.6	77.4	15.7	61.7	
	九州	100.0	33.8	66.2	17.5	48.7	
	本県	100.0	48.2	51.8	15.9	35.9	

3 経営耕地面積の動き(販売農家)

(1) 土地種類別経営耕地面積の動き

—経営耕地面積は76,721haで前回に比べ7.6%減。1戸当たり経営耕地面積は141a—

経営耕地面積は76,721haで前回に比べ6,284ha(7.6%)減少した。また、総面積の構成比をみると、畑が56.3%と過半数を占め、次いで田が31.4%、樹園地が12.3%となった。

なお、1戸当たりの経営耕地面積は141.2aとなっている。

次に土地種類別に増減の内訳をみると、田では「過去1年間に稲以外の作物だけを作った田」が22.7%増加した一方で、「過去1年間に作付けしなかった田」が39.6%減少した。畑では、「牧草専用地」が32.4%、「過去1年間に作付けしなかった畑」が23.1%とそれぞれ減少した。(表3)

表3 土地種類別経営耕地面積の動き(販売農家)

(単位:a, %)

区分	2000年	2005年	増減		2005年構成比		2005年 農家数	2005年農家1 戸当たり耕地	
			実数	比率	総面積	種類別			
総面積	8,300,476	7,672,083	△ 628,393	△ 7.6	100.0	100.0	54,332	141.2	
経営 田	計	2,653,034	2,410,583	△ 242,451	△ 9.1	31.4	100.0	39,297	61.3
	稲を作った田	2,047,553	1,843,419	△ 204,134	△ 10.0	24.0	76.5	37,682	48.9
	うち二毛作をした田	165,950	136,454	△ 29,496	△ 17.8	1.8	5.7	3,678	37.1
	過去1年間に稲以外の 作物だけを作った田	323,497	396,891	73,394	22.7	5.2	16.5	10,970	36.2
	過去1年間に作付け しなかった田	281,984	170,273	△ 111,711	△ 39.6	2.2	7.1	8,215	20.7
	計	4,623,595	4,316,800	△ 306,795	△ 6.6	56.3	100.0	42,380	101.9
耕 地	普通畑	4,238,927	4,038,337	△ 200,590	△ 4.7	52.6	93.5	40,352	100.1
	過去1年間に飼料用 作物だけを作った畑	1,106,858	1,098,477	△ 8,381	△ 0.8	14.3	25.4	11,358	96.7
	牧草専用地	186,550	126,146	△ 60,404	△ 32.4	1.6	2.9	1,087	116.0
	過去1年間に作付け しなかった畑	198,118	152,317	△ 45,801	△ 23.1	2.0	3.5	5,568	27.4
	樹園地	1,023,847	944,700	△ 79,147	△ 7.7	12.3	100.0	8,747	108.0
牧草地、放牧地に利用した土地	100,488	54,237	△ 46,251	△ 46.0	0.7	100.0	698	77.7	

4 販売目的で飼っている経営体数と頭羽数の動き(販売農家)

—1経営体当たりの家畜の飼養(出荷)頭羽数は増加(ただし採卵鶏は減少)—

家畜(乳用牛, 肉用牛, 豚, 採卵鶏, ブロイラー)を飼育する経営体は、前回に比べ乳用牛が19.8%, 肉用牛が21.2%, 豚が28.5%, ブロイラーが11.7%それぞれ減少した。採卵鶏は9.3%増加した。

また、飼養(出荷)頭羽数についても前回に比べ乳用牛が0.5%, 肉用牛が3.7%, 豚が20.1%, 採卵鶏が40.7%, ブロイラーが1.8%それぞれ減少した。

一方、1経営体当たりの家畜の飼養(出荷)頭羽数をみると、乳用牛が24.0%, 肉用牛が22.2%, 豚が11.8%, ブロイラーが11.2%それぞれ増加しているが、採卵鶏は45.8%減少した。(表4)

表4 販売目的で飼っている家畜経営体数と頭羽数の動き(販売農家)

(単位:経営体, 頭, 100羽, %)

区分	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー		
	経営体	頭数	経営体	頭数	経営体	頭数	経営体	飼養羽数	経営体	出荷羽数	
2000年	546	19,483	17,103	241,863	747	332,636	289	45,812	307	451,101	
2005年	438	19,388	13,475	232,813	534	265,770	316	27,155	271	442,869	
増減	実数	△ 108	△ 95	△ 3,628	△ 9,050	△ 213	△ 66,866	27	△ 18,657	△ 36	△ 8,232
	比率	△ 19.8	△ 0.5	△ 21.2	△ 3.7	△ 28.5	△ 20.1	9.3	△ 40.7	△ 11.7	△ 1.8
1経営体当り飼養頭羽数	2000年	—	35.7	—	14.1	—	445.3	—	158.5	—	1,469.4
	2005年	—	44.3	—	17.3	—	497.7	—	85.9	—	1,634.2
増減	実数	—	8.6	—	3.1	—	52.4	—	△ 72.6	—	164.8
	比率	—	24.0	—	22.2	—	11.8	—	△ 45.8	—	11.2

5 農産物販売金額規模別経営体の動き(販売農家)

—販売金額1,000万円以上の経営体が増加—

販売農家を農産物販売金額規模別にみると、前回に比べ1,000万円未満のすべての層において減少したが、1,000～2,000万円未満層、2,000～3,000万円未満層、3,000万円以上の層ではそれぞれ7.1%、18.1%、6.0%増加した。

構成比でみると、200万円未満の層は全体の66.5%を占めており、小規模の経営体の減少が大きいものの、依然として全体数に占める割合は高い。(100万円未満の層は全体の49.7%であった。)

(表5)

表5 農産物販売金額規模別経営体の動き(販売農家)

(単位:経営体 %)

区分	経営体数	50	50	100	200	300	500	700	1,000	2,000	3,000	
		万円未満	～100	～200	～300	～500	～700	～1,000	～2,000	～3,000	万円以上	
2000年	65,494	24,431	11,690	10,200	5,562	4,661	2,553	2,098	2,492	731	1,076	
2005年	54,332	18,609	8,409	9,125	4,778	4,449	2,337	1,953	2,668	863	1,141	
増減	実数	△ 11,162	△ 5,822	△ 3,281	△ 1,075	△ 784	△ 212	△ 216	△ 145	176	132	65
	比率	△ 17.0	△ 23.8	△ 28.1	△ 10.5	△ 14.1	△ 4.5	△ 8.5	△ 6.9	7.1	18.1	6.0
構成比	2000年	100.0	37.3	17.8	15.6	8.5	7.1	3.9	3.2	3.8	1.1	1.6
	2005年	100.0	34.3	15.5	16.8	8.8	8.2	4.3	3.6	4.9	1.6	2.1

注) 50万円未満層には販売のなかった経営体も含む。

6 農業経営体の組織形態別経営体数(農業経営体)

—農業経営体で法人化している経営体は994経営体—

本県の農業経営体数は、55,859経営体で、そのうち法人化している経営体は994経営体となった。法人化している経営体の中で一番多いのは、有限会社の558経営体であった。

(表6)

表6 組織形態別経営体数(農業経営体)

(単位:経営体, %)

区分	計	法人化している					
		小計	農事組合 法人	会 社			
				株式会社	有限会社	合名・合資会社	
全国	2005年	2,009,380	19,136	2,610	1,344	9,559	79
	構成比(法人化内訳)	-	100	13.6	7.0	50.0	0.4
九州	2005年	318,612	3,783	464	240	1,936	29
	構成比(法人化内訳)	-	100	12.3	6.3	51.2	0.8
本県	2005年	55,859	994	113	80	558	4
	構成比(法人化内訳)	-	100	11.4	8.0	56.1	0.4

区分	計	法人化している		地方公共団 体・財産区	法人化 していない
		会 社			
		各種団体	その他の法人		
全国	2005年	5,053	491	505	1,989,739
	構成比(法人化内訳)	26.4	2.6	-	-
九州	2005年	994	120	49	314,780
	構成比(法人化内訳)	26.3	3.2	-	-
本県	2005年	206	33	20	54,845
	構成比(法人化内訳)	20.7	3.3	-	-

※ この表は農業経営体の集計表である。

林業の概要

1 林業経営体数

—本県の林業経営体は2,778経営体—

2005年(平成17年)2月1日現在の本県の林業経営体数は2,778経営体であった。

林業経営体を保有面積規模別にみると、全国で5 ha以上の経営体の割合(66.3%)が大きいのに対して、本県は5 ha未満の割合(55.8%)が大きくなっている。(表1)

表1 保有山林面積規模別の林業経営体数

(単位：経営体、%)

区分		総数	3ha未満	3～5ha	5～10ha	10～20ha	20～30ha	30～50ha	50～100ha	100～500ha	500ha以上	
全国	計	実数	200,224	3,036	64,342	59,869	38,457	13,160	9,769	6,347	4,240	1,004
		構成比	100.0	1.5	32.1	29.9	19.2	6.6	4.9	3.2	2.1	0.5
九州	計	実数	29,317	632	10,640	8,000	4,937	1,926	1,557	961	561	103
		構成比	100.0	2.2	36.3	27.3	16.8	6.6	5.3	3.3	1.9	0.4
本県	計	実数	2,778	133	1,418	741	285	67	45	47	33	9
		構成比	100.0	4.8	51.0	26.7	10.3	2.4	1.6	1.7	1.2	0.3

2 保有林業経営有山林の構成

—保有山林の7割が人工林—

林業経営体について、人工林、天然林別に保有山林面積の構成をみると、人工林は69.3%、天然林は30.7%となっていた。

さらに、人工林について、樹齢別に面積の構成をみると、31～40年生が39.4%と最も高く、次いで11～30年生が28.7%となっている。(図1, 2)

図1 保有山林の人工林・天然林別面積の構成

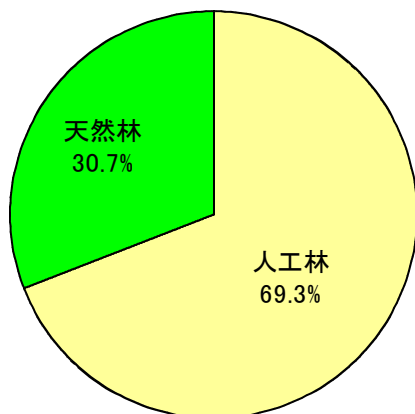


図2 人工林の樹齢別面積の構成

